

10月24日



藤原宮へ運ばれたとされる瓦

宗吉かわらの里 オープン1周年

「平城遷都1300年祭」連携事業



平城遷都1300年祭
公式マスコットキャラクター
せんとくん
© heijo-kyo 1300th Anniv.

略歴	演題	場所	時間	講師
朝日カルチャーセンター、NHK文化センターなどの講師を務め、教育・福祉問題にも取り組んでいる。著作「転」薬師寺」など。	般若心経空の心 かたよらない こたわらない とらわれない「こころ	三豊市文化会館 (マリノウェーブ)	午後3時20分	講師 薬師寺執事長 村上 太胤 氏
藤原京はどのような都であったのか 檀原市文化協会会長、NPO全日本文化団体連合会理事長、著作「檀原市からの発信」「日本人の服飾の情緒美はどこから来たか」など。		三豊市文化会館 (マリノウェーブ)	午後1時40分	講師 奈良県文化協会連盟会長 戸田 守亮 氏



▲今回も、午前・午後の2回、木札投げが行われる（写真：昨年の落成記念行事）

宗吉瓦窯跡史跡公園は平成21年5月に落成し、1周年を迎えました。現在、奈良県で開催されている平城遷都1300年祭との連携事業として1周年記念行事を開催します。雅楽の演奏や講演会のためにはるる奈良からやってきてくれる人たちや「せんとくん」とともに、大いにイベントを楽しみましょう。

三豊市文化会館（マリノウェーブ）

雅楽演奏 (天理大学雅楽部) 時間 午後2時45分	琵琶演奏
雅楽部の紹介 雅楽部の活動はきわめて活発で、天理、東京、大阪、福岡での定期演奏会以外にも20回以上の海外公演を行っている。	時間 午後2時25分
雅楽とは 古来から日本で培われた音楽と、およそ5世紀ごろからアジア各地から伝えられた楽舞が融合し、平安時代に完成した。管絃、謡物、舞楽の三種がある。	演奏曲 「大和三山」 「壇の浦」
	略歴 日本橋会 木村旭勝に40歳から師事後、人間国宝 山崎旭萃に師事。現在、光明寺流琵琶楽家元 菅公香に師事、現在に至る。

光明寺流師範 野田 勝香 氏

マリノウェーブ（詫間）

午前10時 開場	午後1時15分
12時30分	午後1時 開会行事
「藤原京のくらし」ビデオ放映	午後1時15分
	ガイダンス
	「宗吉の瓦がどのようなようにして藤原京に運ばれたのか」
	宗吉かわらの里展示館
	渡部明夫館長
	午後1時40分
	第1部講演
	「藤原京はどのような都であったのか」
	講師 奈良県文化協会連盟会長
	戸田守亮氏
	午後2時15分
	アトラクション
	詩吟の会朗吟「宗吉瓦窯跡」
	琵琶演奏 檀原市 野田勝香氏
	雅楽演奏 天理大学雅楽部
	午後3時20分
	第2部講演
	「般若心経 空の心」
	講師 薬師寺執事長
	村上太胤氏
問い合わせ	
生涯学習課	
62・11113	

宗吉瓦窯跡史跡公園 (三野)

午前9時	午前9時30分
大見小学校ブラスバンド (パレード)	宗吉かわらの里展示館
	特別展「藤原京の暮らし、まじない展」テープカット
	当日入館無料
	午前9時35分
	三豊市軽音楽部
	「七宝のかぜ」等演奏
	午前10時
	太鼓演奏第1部
	童響 響屋
	午前11時
	木札投げ第1部
	12時45分
	太鼓演奏第2部
	仁尾竜翔太鼓
	いやだに神農太鼓
	龍王太鼓
	午後1時45分
	木札投げ第2部
	午後1時45分～4時
	宗吉かわらの里展示館
	無料体験コーナー(粘土細工)

お楽しみイベント

昨年の開園以来、どのようにしたら皆さんが公園に来てくれるか話し合いました。学校の学習活動や各種団体の研修として古代人の気分を味わってもらいたいと、案内ボランティアや技術ボランティア



宗吉瓦窯会
会長
藤田 明美さん

アのガイド養成講座を開き、これまでに延べ2千人以上のメンバーが参加しました。また、公園を桜の森にしようとした桜を植え、成長まで50年はかかりますが子や孫のために頑張りたいと整備に励んでいます。押し付けでなく、自分ができることを自分らしく行うことで、喜びも感じるができますし、これからも長く公園を支えていくことにつながると思っています。

藤原京ひとくちメモ

694年、持統天皇時代に以前の「飛鳥浄御原宮」から遷都した我が国初めての条坊制（碁盤の目状の配置）による都城です。平城遷都までの16年間、国の中心の都として使用されました。

瓦を葺いた宮殿は藤原宮が最初で、使われた瓦は推定200万枚以上とされています。都の造営という、まさに国家プロジェクトを支えた宗吉瓦窯なのです。

また、お好み焼き、焼き鳥、飲み物、そして「ポイセンペリー入り瓦窯せんべい」などの販売もあります。三野町生活研究グループの皆さんが作った、体にいい成分が豊富に含まれる三豊市の新しい特産せんべいです。マリンウェーブでは、琵琶や雅楽の演奏、記念講演を開催。一流の奏者や講師が奈良からわざわざやってきてくれます。藤原京当時の様子を知るまたとない機会です。ぜひお越しください。

問い合わせ
生涯学習課 62・1113

あたかちゃん
(明日香村・高取町・
橿原市のマスコット)



せんとかんと
記念撮影を
しよう

「せんとかんと」 「あたかちゃん」も やってくる

史跡公園では、いろいろ楽しみなイベントがいっぱい。大見小学校鼓笛隊のオープニングパレードに始まり、軽音楽の演奏や太鼓の演奏、木札投げも行われます。香川の伝統工芸「岡本焼」体験、張子虎絵付け体験もあります。また、奈良からやってくる「せんとかんと」、明日香村・高取町・橿原市の広域マスコット「あたかちゃん」との記念撮影も。

小腹がすいたら屋台村へどうぞ
うどん、ポン菓子の無料接待、



特別展「藤原京の暮らし、まじない展」が始まります。また、常設展示として宗吉瓦窯の歴史や都の瓦の生産、運搬の様子などを映像や写真パネルで紹介しているほか、瓦窯跡や藤原宮、市内の遺跡から出土した瓦を展示しています。

史跡公園を支える人たち

公園を支える宗吉瓦窯会の会員は、毎月1回のボランティアガイド講習や体験学習サポート養成講座を受けています。また、3月から10月まで毎月1回公園の草抜きをしたり、7月から9月は毎週水



宗吉瓦窯会事務局
西川 正明さん

やりも行っています。国の指定史跡に認定されることはなかなかないことですので、次世代につないでいこうという心意気で頑張っています。3月に行つた史跡まつりにも70人以上がボランティアでまつりを運営し、千人以上の方が来てくれて疲れも吹き飛んだと喜んでいました。来年は、3月に備中神楽を行います。ぜひお越しください。

宗吉かわらの里展示館



古代の瓦や土器づくり、勾玉づくりなどの体験学習を行っています。この日は、粘土作品づくりが無料で行えます。ミニ瓦やつば、カップや器など思い思いの作品を作ってください。作品は展示館で焼き上げて約1カ月後に返してくれます。誘い合わせてご参加ください。

無料体験コーナー(粘土細工) 午後1時45分～4時



▲4月に行われた無料開放デーには大勢の親子連れが参加した



▲粘土を使ったつばやカップなど思い思いの作品ができる

史跡めぐりバスツアー

藤原宮の瓦を焼いた宗吉瓦窯跡と、宗吉の瓦が使われていた妙音寺をバスで訪ね「ふれあいパークみの」で平安時代の食事を楽しみます。その後、平城京と三豊のかかわりについて講演を聞きます。
日時 10月24日(日) 午前10時～午後4時30分
参加料 1,200円(昼食代、保険料)
出発地 マリンウェーブ駐車場 午前10時
定員 30人
問い合わせ
マリンウェーブカルチャー 56-5133

藤原宮へ瓦を運んだのは奈良以外で5カ所あり、そのうちの1つが宗吉瓦窯でした。そのころの瓦は手作りで、高温で焼くため、千年も使える品質の良いものだったので、藤原宮から平城宮へ持って行って再使用したのです。また、当時の軒平瓦は、9～10kgと非常に重く柱もしっかりしたものでなければならぬため宮殿や寺院に使

われ、一般庶民には手の届かない高価なものでした。現在、入館者は1万3,000人を超え、東は関東方面、西は九州方面からも訪れています。皆さんに宗吉瓦の歴史を説明するのですが「1300年前のもの」ということが驚かれます。10月24日の1周年記念イベントではさまざまな行事がありますが、この日から来年1月23日まで奈良県橿原市の藤原京から出土した品々を展示し、藤原京の人々の暮らしや古代のまじないを紹介します。ぜひお越しください。



宗吉かわらの里
展示館
(主席文化財専門員)
渡部 明夫 館長